

【ロシア】

9-10月の市場動向トピックス

- 2020年9月の訪日韓国人数は、前年同月比99.4%減の60人であった。
- 2020年10月の訪日韓国人数は、前年同月比97.9%減の300人であった。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、4月3日以降、日本における検疫強化、査証の無効化等の対象となったこと等もあり、訪日者数は前年同月を大幅に下回った。

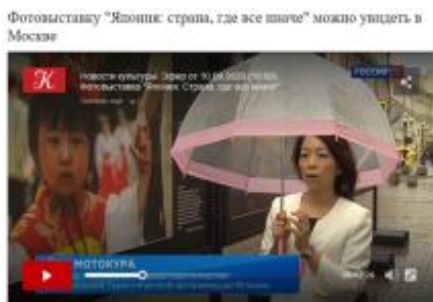
9-10月の主なプロモーション活動

- 5月よりナショナルジオグラフィックロシアオンラインにて実施したフォトコンテストの優秀作品を、モスクワ中心部のアルバート通にて9月9日より1か月間展示会を行った。初日には在ロ大使館・ロシア連邦観光庁からの来賓をお迎えし開会式および授与式を実施した。当日の様子は全国局「カルチャー」などでも放映された。
- アジアに特化した国内最大規模の業界イベントであるAsian Workshopに参加。初のハイブリッド開催となり、オンライン商談会8/17-9/17・オフライン商談会9/17に共同出展者9団体とともに参加した。商談件数はオンライン251件となり、参加した自治体・宿泊施設・航空会社からは初めての試みに課題もあげられたが、おおむね満足度の高い事業となった。
- 9月27日、ウラジオストクのTravel Fair(オンライン版)に参加した。今年度は新型コロナウイルス感染拡大及びそれに伴うイベント開催の規制の影響により、通常型のイベント開催が不可能となり、2020年のTravel Fairはラジオ番組及びインターネットを活用した形で開催することとなった。Travel Fairの主催者(Fregat Aero社)は、現地ウラジオストクのRadio Lemmaの放送時間を一日借り上げ、「Travel Fair 2020 Listening to the World」と題し、世界観光に特化したラジオマラソンを実施した。日本はパートナーカントリーとして参加し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により渡航規制に苦しんでいる極東地域の住民向けに訪日旅行の魅力や利便性等について情報発信を行ったとともに、国境の再開後の訪日旅行の意欲増進・動機付け強化を図った。
- 7月21日、ロシア旅行業連盟(RUTI)と連携した訪日旅行促進事業としてウェビナーの第3回目(全3回)を実施した。日本の春～秋の魅力および体験型観光について発信した。過去2回同様、冒頭にRUTI報道官(ロシア市場アドバイザーボード)による日本訪問の印象についてのスピーチも含め約2時間のウェビナーとなった。オンライン視聴者数192名、アーカイブ視聴者10/27現在、76名とロシア全土からの参加があった。
- 交通渋滞で有名なウラジオストク市ではラジオリスナーが多いため、10月15日と10月23日に現地のRadio Lemmaにて、北海道と東北をテーマにした日本観光の特集番組を放送した。放送時間は各50分で、北海道は当地を数回旅行した現地ブロッガー、東北は7年間仙台に在住歴のある現地の通訳により情報発信を行った。JNTOのレップが両番組のモデレーターを担当。また視聴者を増やすため、北海道・東北クイズを行い正解したリスナーにプレゼントを進呈。

(1)「ロシアにおけるジャパンフォトコンテスト」授賞式・開会式・展覧会



写真展の様子



カルチャー局での報道

(2) ビジットイーストアジア事業「アジアワークショップ」



オフライン商談会の様子

(3)ウラジオストクの Travel Fair(オンライン版)



ラジオマラソンの様子(JAL)



ラジオマラソンの様子(ANA)



TV8 グルメ番組(八の味)

(3)ウラジオストクのラジオ局にて日本観光特集を放送



北海道特集収録の様子(ラジオ局のインスタグラム)



東北特集収録の様子(ラジオ局のインスタグラム)